

令和7年度 近畿部会第175回例会（総会）

■テーマ

地方公文書館における学校連携事業の現在

—福井県と滋賀県の事例を中心に—

■と き

令和7年（2025）6月14日（土曜日）
13時20分～16時40分

■場 所

滋賀県庁北新館5-A会議室（※13時10分までに新館3階の公文書館へお集まりください。）

住所：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

■JR大津駅から東へ徒歩5分

■京阪電気鉄道島ノ関駅から南南西へ徒歩5分



■報 告 者

報告者1 田川 雄一 氏（福井県立藤島高等学校、元福井県文書館）

報告者2 久保田 重幸 氏（三重大学教育学部、元滋賀県教育委員会事務局）

司会者 大月 英雄 氏（滋賀県立公文書館）

■定員

60名（下記のフォームより申し込み先着順 対面のみで開催です）

■参加費

無料 ※参加には、事前のお申し込みが必要です（お申し込み方法は下記参照）。

■内 容

これまで各地の公文書館では、学校教員が人事異動で配属される利点を生かして、所蔵資料の授業等での活用事業を積極的に進めてきた。特に2016・17年度に改訂された現行の学習指導要領では、歴史学習における「資料」の活用が一層重視されており、その解説では初めて「公文書館」の役割に言及されるなど、各館の学校連携の取り組みがますます重要になってきているといえる。

そこで本例会では、近年特徴的な取り組みを進めてきた福井県と滋賀県の事例を手がかりに、地方公文書館における学校連携事業の成果と課題を確認してみたい。コロナ禍を機に急速に進む授業のデジタル化のなかで、公文書館はいかなる役割を果たすことができるのか。デジタル時代に求められる新たな公文書館像についても、併せて議論を呼びかけたい。

■お申し込み方法

必ず以下の参加フォームよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S81872802/>

■お申し込み締切

令和7年(2025)5月30日(金曜日)まで

(先着順ですので、予定より早く締め切ることがあります)

■当日スケジュール

13:20-14:20 総会

14:20-14:30 休憩

14:30-14:40 趣旨説明

14:40-15:20 田川氏報告「デジタルアーカイブの教育活用
ー福井県文書館の取組ー」(40分)

15:20-16:00 久保田氏報告「公文書館の歴史資料を用いた授業について
ー滋賀県立公文書館による学校教育連携事業を事例としてー」(40分)

16:00-16:30 質疑応答

16:30-16:40 まとめ

※例会終了後、懇親会を開催いたします。

■お問い合わせ先

全史料協近畿部会事務局 : 滋賀県立公文書館

MAIL: archives@pref.shiga.lg.jp 住所: 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL: 077-528-3126 FAX: 077-528-4813